

西宮市議会議員

まさたけ

初志をいつまでも忘れず
行動し続けます。

田中正剛

市政・市議会報告

<http://www.masatake.jp/>



税金のゆくえ ～自分が払った税金がどのように使われているのか

「将来世代へツケを残さない政治」とよく叫ばれますが…

本市では、一時300名を超えた保育所の待機児童ですが、今年4月には81名まで減少しました。平成14年から10年間で、約14億円の税金を投入し、民間保育所23園（分園を含む）を新設、定員を1,406名増加しました。運営費は、平成14年から約17億円増加し、平成23年度は74億7000万円となっています。そして、合計特殊出生率は平成22年で1.34（兵庫県：1.41、国：1.39）と全国を下回り、近年は低水準で推移しています。

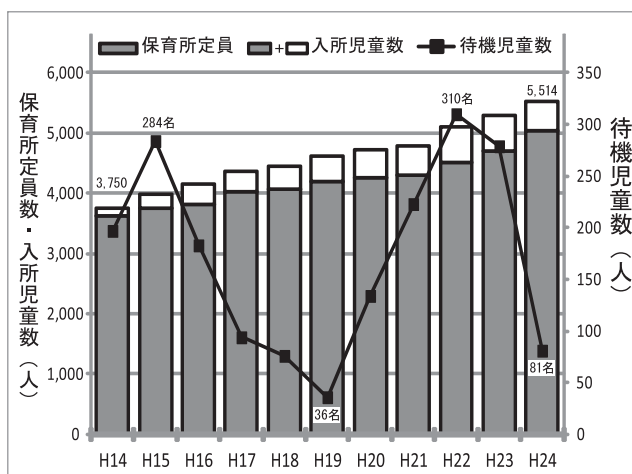
一方で、高齢化率は徐々に上昇し続け、平成22年には19.1%（国：22.9%）となっています。高齢者政策は、在宅医療・介護など在宅ケアの取り組みが進められていますが、老老介護の問題や孤独死の増加など限界が生じてくることも予想されます。また現在、特別養護老人ホームの待機者は、本年3月末現在で2,000名を超えており、高齢化が着実に進むなか、ますます高齢者施設の需要が高まることが予想されます。

国政では、人口減少時代に突入したにもかかわらず、これまでの政策を大きく転換することなく、

社会保障制度の持続を名目に、先行して消費税増税という安易な財源確保策が選択されました。

社会構造の変化や財政問題から目をそむけ、耳触りのいい政策ばかりを推進する政治は将来へツケを残すばかりであると考えています。市政については、今後も日ごろからの報告を重ね、皆様からのご意見もいただきながら、人口減少社会、成熟社会に対応できる政策を提言してまいります。

■保育所定員及び入所児童数と待機児童の推移



■保育所経費及び保護者負担の推移

(円)

	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23
建設費（新設）	0.3億	—	0.4億	0.8億	1.2億	0.1億	1.8億	3.8億	1.6億	4.2億
年間運営費① （公立・民間）	59.3億	57.3億	62.1億	63.6億	63.6億	64.6億	67.2億	67.9億	72.2億	74.7億
保護者負担②	11.1億	11.4億	11.9億	13.7億	15億	15.5億	16億	16.5億	18.3億	19.4億
税投入（①－②）	48.2億	45.9億	50.2億	49.9億	48.6億	49.1億	51.2億	51.4億	53.9億	55.3億

文教住宅都市である西宮では、身近な生活における安心・安全の確保は優先されるべきです。

■通学路の安全対策を計画的に！

本年4月以降、登校中の児童などの列に自動車が突っ込み、死傷者が発生する痛ましい事故が相次いで報道されました。

私はこれまでに、特に生活道路における歩道のバリアフリー化、安全な歩行者空間の確保について重点的に取り組んできました。昨年12月議会でも、歩行者が危険にさらされながら歩道の設置が困難、または歩道の幅が不十分な箇所対策について、具体的な箇所を挙げて質問しました。その際には、平成24年度にカラー舗装の実証実験を行い、安全対策の効果が認められれば、今後の本格実施に向けて、側溝のふた掛けも合わせて計画を策定するとの回答を得ました。



自動車の交通量が多く、車のすれ違いすら困難な箇所は、市内に多数存在しています。

写真：大浜老松線（雲井町付近）

今回は通学路に焦点をあてて、まずは、危険箇所の把握と対応の現状について質問しました。すると以下の問題点が明らかになりました。➤

①：多額の費用を要する要望が放置されている

過去5年間での学校からの改善要望の半数以上が改善されずに放置状態となっていることが明らかになりました。

②学校からの要望がなければ動かない

私が多数の方々からご意見をいただいていた道路「大浜老松線（雲井橋通り）」や「越水線」を取り上げましたが、学校からの改善要望が出ていないとのことで具体的な改善策の検討状況は示されませんでした。

危険箇所が長年放置される要因は、事故を未然に防ぐ意識を欠いた場当たり的な対応にあると考えています。そこで、教育委員会に対して、通学路の危険箇所の把握から対策を講じるまでの一連の仕組みをつくり、必要財源を把握し、計画策定を含めて計画的に安全対策を進める体制を構築するよう提言しました。教育委員会も必要性を認め、まずは全市一斉の点検を行い、改善までの体制づくりを行う旨の回答を得ました。



■「通学路の安全対策」が、今年度の所管常任委員会の重点施策に。

今年度の市民文教常任委員会の重点施策に選ばれ、7月には市内の通学路の危険箇所を委員会で視察しました。道路幅が狭いという根本的な問題もあり、全てを解決するには相当の費用と時間がかかる問題であることを実感しました。市内の危険箇所を洗い出し、高齢化・人口減少社会という社会構造の変化も考慮に入れ、それらに優先順位をつけながら、計画的に改善する方法を考え、提言してまいります。



段上西小学校の通学路を視察。車が猛スピードで行きかう道路で歩行者空間が狭く危険。

その他以下の質問をしました。

●IT技術を活用した持続可能な防犯対策

●やりっ放しの「アウトソーシング推進指針」の総括

●琵琶湖が放射能汚染された際の水道水の確保

●策定しただけの分限処分ガイドラインの厳格運用

市長が選挙で掲げた「公正で効率的な市政運営」とは？

■保育所の民間委託はどうなったのか？

今回は、保育所の民間移管を取り上げ、市長の公約の一つであった「民間活力の導入」に対する姿勢を問いました。

グラフのとおり、行財政改革による職員の削減後、人件費は減少しているものの、職員数は再び増加傾向にあります。なかでも**保育職はここ5年間で100名を超える新規採用を行っており**、国の統計では、市民1000人当たりの保育士数は、西宮市と同じ中核市41市のなかで10番目に多くなっています。

そこで、保育士の採用計画について質問したところ、現在ある「民間移管計画」の内容が反映されていないことが明らかになりました。

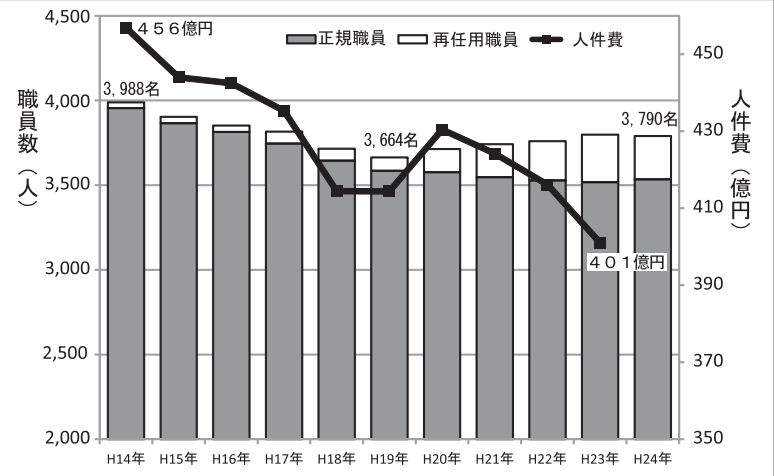
現在の保育所民間移管計画(公立23園中3園が対象)は、公立保育所の近隣に民間保育所を先行して建設したのちに公立を廃止する方式となっています。しかし、待機児童を理由に先送りされており、この**非効率的な先行方式を改め、現地での民間移管を行うことで一刻も早く財源を確保すべきと指摘しました**。また、待機児童は来年度には解消する計画で取り組んでいますので、来年度からの市の対応を問いました。

市は、平成25年度から、先行する民間保育所の建設に取り組むと回答しました。

そして、これまで先送りされてきた老朽化対策や耐震化等、施設の安全性の確保が喫緊の課題となりつつあります。現に、今年度は耐震化のために公立の鳴尾東保育所の建て替えが始まります。しかし、公立のままでは国の補助金も活用できません。そこで、**民間の社会福祉法人に移管して老朽園舎を建て替えれば、国の補助金と民間資金が活用できるため、財源的に3倍のペースで安全確保を実現できます**。建て替えの際にそうしたことを検討せずに進めた「場当たり的な対応」を改めるよう指摘し、市の考えを問いました。市は、今年度中に、今後の民間移管に関する方針を定めると回答しました。

民間保育所の保護者満足度は、公立より上回っています(前号参照)。民間移管を実施するためには、早く市の方針を決定し、利用者へ説明する必要があります。民間移管の方針決定や実施が遅くなればそれだけ財源のロスも増加します。民間活力の導入によって、子どもたちの環境改善を促してまいりたいと思います。

■西宮市の職員数と人件費の推移（下表はそのうち保育職員の推移）



○給与費の官民格差の問題

市の正規の保育士の平均年収は約567万円となっている一方で、民間保育所への負担金の算出で使われている民間給与費は年間約416万円となっています。

○再任用職員（制度）とは…

年金制度の改正により市を定年退職した者などを改めて採用する制度。高齢者の知識と経験の活用と、雇用と年金の連携による生活支援のために、国に準じて導入。

1週間の勤務時間は16～32時間。

(人)

保育職	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24
正規	321	307	307	304	292	288	286	286	294	301	306
再任用	0	0	0	2	2	2	4	5	6	8	5

アンケートにご協力ください

～これからの西宮市を創っていくために、皆さんの声をお聞かせください～

皆さんの声に耳を傾け続けると約束しました。そして、市民の皆さんとともにこのまちの将来を創っていくためにも、もっと広く意見を伺いたいと考えています。そのために、不定期でアンケートの聴取を実施しています。ご協力いただける方は是非ともご連絡ください。アンケート用紙をお届けいたします。

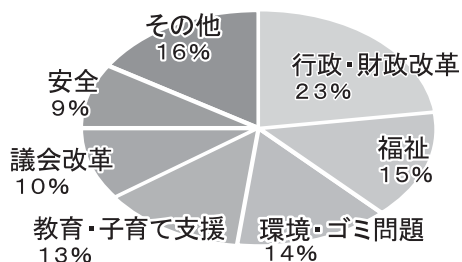
また、以前に実施した際には、多数のご意見をお寄せいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。また、自由記述の欄も設け、様々な分野に及ぶご意見があり、中には時間を要する課題もございましたが、市政に反映できるよう

今後も努力してまいります。

※ご意見に対する回答や分析結果につきましては、本来でしたらお届けすべきところですが、配布は見合わせております。事務所に用意しておりますので、ご希望の方にはお届けいたします。

アンケート結果(平成22年実施分の一部)

問: 今後、議会で取り組むべき政策分野は?



◆意見交換会も定期的に開催しています。下記連絡先までご連絡いただき、ご案内の送付先をお知らせください。※後援会活動とは異なりますので、お気軽にご参加ください。

TOPICS 市政情報

市が「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」を作成

昨年12月に防犯カメラ設置のガイドラインが策定されました。これまで西宮市では、プライバシー保護や維持管理の問題から、公道での設置は許可していませんでした。しかし、兵庫県が昨年度から、自治会やまちづくり防犯グループ等地域団体が設置及び維持管理を行う防犯カメラの設置に対する補助金を創設しました。そこで市も、条件付きで公道や公園等に設置を認め、その際のルールとして市のガイドライン

私たちににとって身近であるべき市政の情報を、少しでも多くの方に知っていただきたいと願い、設置しているコーナーです。

が策定されました。

ひったくりや空き巣をはじめ犯罪が多発している現在、防犯カメラによる取り締まりの強化、犯罪の抑止が必要な時代となりました。

現時点では、地域団体に機器の運用や維持管理をお願いすることになりますが、一層防犯対策が進むことが期待されます。

※ガイドラインの内容など詳細は市の窓口(35-3474)までお問い合わせください。

田中正剛 たなか まさたけ

昭和50年7月生まれ/大阪府立四条畷高等学校、神戸大学工学部卒業/元市会議員事務所に4年間勤務/平成15年4月に西宮市議会議員選挙初当選 ■政党: 保守系無所属 ■所属会派: 蒼土会 ■現在の担当常任委員会: 市民文教常任委員会 ■市議会での主な役職: 建設常任委員会副委員長(1期2年目)、厚生常任委員会委員長(1期3年目)、西宮市監査委員(2期1年目)、フレンテ問題特別委員会委員長(2期3・4年目)、病院問題特別委員会委員長(3期1年目～)

ご意見・ご要望・資料のご請求は

西宮市議会議員 **田中 正剛** 事務所

〒662-0854 西宮市櫛塚町1-14 光永ビル3階
(兵庫県西宮庁舎南向かい)

TEL: 0798-22-5172

FAX: 0798-22-6172

E-mail: nishinomiya@masatake.jp

URL: <http://www.masatake.jp>

